

今日の
レッスン

今日は学習の初日です。名前の言い方とたずね方、そして初対面の人のあいさつを覚えましょう。会話では言葉だけでなく、表情や声のトーンもとても大切です。笑顔と共に会えて嬉しい気持ちを伝えましょう。



文法ポイント

名前の言い方には次の2種類があります。「私は～です」を表す「I'm + 名前」と、「私の名前は～です」を表す「My name is + 名前」です。フォーマルな場面では苗字と名前の両方を言いますが、通常は名前だけでOKです。

- ① 英語で「私」はIです。Iは常に大文字で書きます。「私は～です」というときは、「I am～」になります。I am はI'mと短縮することができます。
- ② 「私の名前は～です(私は～と申します)」というときは、「My name is～」になります。
- ③ 初対面のときの会話の構成は次のとおりです。
 - 1) 「はじめまして」のあいさつ
 - 2) 自分の名前を伝える
 - 3) 会えて嬉しい気持ちを伝える
 - 4) 相手の名前を聞き取れなかったときは、「I'm sorry.」や「Sorry.」(すみません)と言って、相手に繰り返してもらえるようお願いする
 - 5) 別れ際には会えて嬉しかったことを伝える
- ④ 自分の名前を聞き返されたら、ゆっくりと発音して、「It's M-A-S-A-K-I.」のようにスペルを言うと伝わりやすいです。



10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----



■初対面のときのあいさつ

How do you do?	はじめまして。
Nice to meet you.	お会いできて嬉しいです。
Nice to meet you, too.	こちらこそお会いできて嬉しいです。
I've been looking forward to meeting you.	お会いするのを楽しみにしていました。

■自分の名前を言う

I'm Emma.	私はエマです。
My name is Tomohiro.	私の名前はトモヒロです。
Please call me Tomo.	トモと呼んでください。
It's T-O-M-O.	(つづりは) T-O-M-Oです。
My name is Kai Tanaka.	私は田中カイと申します。

■相手の名前について

What's your name?	あなたのお名前は何か。
I'm sorry, I didn't catch your name.	すみません、お名前を聞き取れませんでした。
Could you repeat your name, please?	お名前を繰り返していただけますか。

■別れ際のあいさつ

It was nice meeting you.	お会いできて嬉しかったです。
Thank you for your time.	お時間をいただきありがとうございます。
Let's keep in touch.	今後も連絡を取り合いましょう。
I hope to see you again soon.	また近いうちに会えることを楽しみにしています。



A 空欄に適切な語を入れて、初対面のあいさつのフレーズを完成させましょう。

はじめまして。

() () you ()?

お会いできて嬉しいです。

() to meet you.

こちらこそお会いできて嬉しいです。

Nice to () you, ().

B 自分の名前とつづりを書いて、声に出して読んでみましょう。

私は(自分の名前)です。

I'm _____.

私は(自分の名前と苗字)と申します。

My name is _____.

つづりは(自分の名前のスペル)です。

It's _____.

C 相手の名前が聞き取れませんでした。相手に名前を繰り返してもらるように英語でお願いしましょう。

_____, please?

D 別れ際、相手に会えて嬉しかった気持ちを英語で伝えましょう。

お会いできて嬉しかったです。

It was () () you.

解答 A How do, do / Nice / meet, too B 自由解答

C Could you repeat your name D nice meeting



DAY 002

国籍と出身地の言い方： be動詞について「…は～です」

今日の
レッスン

Day 001では初対面の人に会ったときのあいさつと名前の言い方を学習しました。今日は国籍や出身地の言い方を覚えながら、be動詞について学習しましょう。



文法ポイント

- ① 英語で日本語の「～です」の働きをするものが**be動詞**です。be動詞は主語に合わせて以下のように**am, are, is**と形を変えます。「**主語 + be動詞**」は**短縮**することができます。会話では短縮形がよく用いられます。

	主語	be動詞	短縮形
私	I	am	I'm
あなた	You	are	You're
彼	He	is	He's
彼女	She	is	She's
私たち	We	are	We're
あなたたち	You	are	You're
彼ら	They	are	They're

- ② 国籍を言うときは、「**主語 + be動詞 + 国籍**」の形を使います。出身地を伝えるときは、「**主語 + be動詞 + from + 国名・地名**」で表します。

	国名	国籍
日本	Japan	Japanese
中国	China	Chinese
韓国	Korea	Korean
アメリカ	The United States / The U.S.	American
カナダ	Canada	Canadian
イギリス	England	English
ドイツ	Germany	German
フランス	France	French



住まい・勤務先・学校名の言い方： 一般動詞について

今日の
レッスン

Day 002～Day 004まで、be動詞を使って出身地や職業の言い方を学習しました。英語にはbe動詞のほかにもう1種類の動詞があります。それは一般動詞です。今日は一般動詞のlive, work, goを使って、住まいや勤務先・学校名を伝える表現を学びましょう。

文法ポイント



- 英語の動詞には**be動詞**と**一般動詞**の2種類があります。**be動詞**は主に「～です」を表し、「I am a student.」のように、主語を説明するときに使われます。もう1つの動詞の種類は、一般動詞と言います。**一般動詞**は「～する」という「動き」や「状態」を表します。
- 自分の住んでいる場所は、動詞live(住む)を使って、「**I live in + 場所**」で表します。同居人を表すときは、「**I live with + 同居している人**」を使います。
- 相手の住んでいる場所をたずねるときは、「**Where do you live?**」を使います。
- 動詞work(働く)を使って、勤務先や勤務形態を表すことができます。
- 「どちらにお勤めですか」と、勤務先をたずねるときは、「**Where do you work?**」もしくは、「**Who do you work for?**」を使います。
- 学生に対して、学校名をたずねるときは、「**What school do you go to?**」を使います。答えるときは、動詞goを用い、「**I go to + 学校名**」で答えます。

What school do you go to? どちらの学校に通っていますか。
- **I go to ABC University.** 私はABC大学に通っています。



今日のフレーズ

■住んでいる場所・住まい・同居について

I live in Tokyo.	私は東京に住んでいます。
I live in a house.	私は一戸建てに住んでいます。
I live in an apartment.	私はアパートに住んでいます。
I live in a condominium.	私はマンションに住んでいます。
I live with my family.	私は家族と住んでいます。
I live with my parents.	私は両親と住んでいます。
I live with my in-laws.	私は義理の両親と同居しています。
I live alone.	私は一人暮らしです。

■勤務先や学校について

I work at a bank.	私は銀行で働いています。
I work for ABC Company.	私はABC社に勤めています。
I work in finance.	私は金融業界で働いています。
I work full-time.	私はフルタイムで働いています。
I work part-time.	私はパートで働いています。
I work freelance.	私はフリーランスで働いています。
I work from home.	私は在宅で働いています。
I go to ABC University.	私はABC大学に通っています。
I go to a vocational school.	私は専門学校に通っています。

■住まいや勤務先についてたずねる

Where do you live?	どちらにお住まいですか。
Where do you work?	どちらにお勤めですか。
What school do you go to?	どちらの学校に通っていますか。



10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----



A 和文に合うように、空欄に適切な語を入れて英文を完成させましょう。

私は東京に住んでいます。

I () () Tokyo.

私は一戸建てに住んでいます。

I live () () ().

私はABC社に勤めています。

I () () ABC Company.

私はフルタイムで働いています。

I work ()-().

B 答えに対応する英語の質問を作りましょう。

Q: _____

A: I live in Kyoto.

Q: _____

A: I work at a bank.

Q: _____

A: I go to ABC University.

C 次の項目について、自分のことを英語で書きましょう。

I live in _____ (住んでいる場所)

I work at/for _____ (勤務先)

I go to _____ (学校)

解答

A live in / in a house / work for / full-time

B Where do you live? / Where do you work? / What school do you go to?

C (解答例) I live in Tokyo. I work at a hotel. I work for ABC Company. I go to ABC University. など

まずは最初の1週目、完走おめでとうございます! 実は学習開始からこの5日間が一番大変なのですが、よくがんばりましたね。今日はこれまでの内容を振り返る大切な日。復習を取り入れながら学習を進めることで、学んだことがよりしっかりと記憶に定着します。名前の言い方・初対面のあいさつ・出身地・職業などの言い方をもう一度確認し、日本語を見て英語が自然にぱっと口から出てくるようになったら、チェックボックスにチェックを入れましょう。チェックを入れるたびに、自信が積み上がっていきます。



006

DAY 001 名前の言い方と初対面のあいさつ

- はじめまして。
 お会いできて嬉しいです。
 こちらこそお会いできて嬉しいです。

How do you do?

Nice to meet you.

Nice to meet you, too.

- 私はエマです。
 私は田中カイと申します。

I'm Emma.

My name is Kai Tanaka.

- あなたのお名前は何ですか。
 お名前を繰り返していただけますか。

What's your name?

Could you repeat your name, please?

- お会いできて嬉しかったです。
 今後も連絡を取り合いましょう。
 また近いうちに会えることを楽しみにしています。

It was nice meeting you.

Let's keep in touch.

I hope to see you again soon.

DAY 002 国籍と出身地の言い方

- 出身はどちらですか。
 私は日本人です。
 私は東京出身です。

Where are you from?

I am Japanese.

I'm from Tokyo.



- 私の両親は千葉出身です。
- 私の母は大阪出身です。
- 私たちはドイツ出身です。
- 彼らはフランス出身です。

My parents are from Chiba.
My mother is from Osaka.
We're from Germany.
They're from France.



DAY 003 職業を伝える表現

- ご職業は何ですか。
- 私は学生です。
- 私は会社員です。
- 私は主婦です。
- 私は自営業です。
- 私は退職しています。

What do you do?
I'm a student.
I'm an office worker.
I'm a homemaker.
I'm self-employed.
I'm retired.

- 私は学生ではありません。
- 彼は自営業ではありません。
- 彼女は正社員ではありません。
- 私の両親は退職していません。

I'm not a student.
He isn't self-employed.
She's not a full-time employee.
My parents aren't retired.

DAY 004 出身地・職業・状態をたずねる



- あなたは東京出身ですか。
- 彼はアメリカ人ですか。
- あなたは会社員ですか。
- 彼女は正社員ですか。

Are you from Tokyo?
Is he American?
Are you an office worker?
Is she a full-time employee?

- あなたは疲れていますか。
- 彼はお腹が空いていますか。
- 彼らは喉がかわいていますか。

Are you tired?
Is he hungry?
Are they thirsty?

- あなたは横浜出身ですか。
- はい、そうです。
- いいえ、そうではありません。

Are you from Yokohama?
- Yes, I am.
- No, I'm not.

- 彼女は学生ですか。
- はい、そうです。
- いいえ、そうではありません。
- 彼らは忙しいですか。
- はい、忙しいです。
- いいえ、忙しくありません。

Is she a student?
- Yes, she is.
- No, she isn't.
Are they busy?
- Yes, they are.
- No, they aren't.



DAY 005 住まい・勤務先・学校名の言い方

- どちらにお住まいですか。
- どちらにお勤めですか。
- どちらの学校に通っていますか。

Where do you live?
Where do you work?
What school do you go to?

- 私は東京に住んでいます。
- 私は一戸建てに住んでいます。
- 私はアパートに住んでいます。
- 私はマンションに住んでいます。
- 私は家族と住んでいます。
- 私は一人暮らしです。

I live in Tokyo.
I live in a house.
I live in an apartment.
I live in a condominium.
I live with my family.
I live alone.

- 私は銀行で働いています。
- 私はABC社に勤めています。
- 私はフルタイムで働いています。
- 私はパートで働いています。
- 私は在宅で働いています。
- 私はABC大学に通っています。

I work at a bank.
I work for ABC Company.
I work full-time.
I work part-time.
I work from home.
I go to ABC University.



生い立ちを伝える：生まれ育った場所と生年月日について

今日の
レッスン

今日は一般動詞やbe動詞の過去形を使って、生まれ育った場所や生まれた年について話したり、たずねたりする表現を学びます。自分のバックグラウンドを伝えるフレーズを練習しましょう。



文法ポイント

- ① “I was born in + 場所(国・街の名前)”で「生まれた場所」、「I was born in + 年号」で「生まれた年」を表します。
- ② 「～で育った」と言いたいときは、“I grew up in + 場所(国・街の名前)”の形を使います。“I was born and raised in + 場所”で、「～で生まれ育った」と伝えることができます。
- ③ 引っ越しの経験を話すときは、“I moved to + 場所(国・街の名前)”の形を使います。“when I was 10”(10歳のとき)や“when I was in the first grade(1年生のとき)”を続けると、引っ越した時期を説明することができます。
- ④ 「もともとは～の出身である」と伝えたいときは、“I’m originally from ~”を使います。
- ⑤ 自分の誕生日を言うときは、“My birthday is + 月 + 日にち”、もしくは“I was born on + 月 + 日にち”を用います。日にちは序数詞を使います。(Day 026 p.84参照)
- ⑥ 出身地をたずねるときは、“Where are you from?”(ご出身はどこですか)、“Where did you grow up?”(育ったのはどこですか)、“Where were you born?”(お生まれはどこですか)を使います。



今日のフレーズ

■相手のバックグラウンドをたずねる

Where were you born?	お生まれはどちらですか。
Where did you grow up?	育ったのはどちらですか。
When is your birthday?	誕生日はいつですか。

■出身と育った場所について

I was born in Tokyo.	私は東京で生まれました。
I was born and raised in Osaka.	私は大阪で生まれ育ちました。
I grew up in Chiba.	私は千葉で育ちました。
I was born in Hokkaido, but now I live in Sendai.	私は北海道で生まれましたが、今は仙台に住んでいます。

■引っ越しについて

I was born in Tokyo, but I moved to Yokohama when I was 18.	私は東京で生まれましたが、18歳のとき横浜に引っ越しました。
I was born and raised in Shizuoka, but I moved to Tokyo when I entered university.	私は生まれも育ちも静岡ですが、大学入学時に東京に引っ越しました。
I’m originally from Yamanashi, but I moved to Tokyo when I started working.	私はもともと山梨出身ですが、就職したとき東京に引っ越しました。

■生まれ年と誕生日について

I was born in 1990.	私は1990年に生まれました。
My birthday is June 15th.	私の誕生日は6月15日です。
I was born on November 23rd, 1995.	私は1995年11月23日に生まれました。



DAY 056

学歴を伝える：出身校・好きだった科目・専攻科目・部活

今日の
レッスン

今日は、自分の学歴を英語で伝える方法を学びます。出身校・好きだった教科・大学で専攻した分野・部活について話せると、日常会話だけでなく、自己紹介や面接の場面でとても役立ちますので、覚えて言えるようになりましょう。

文法ポイント



- ① 過去の出来事について話すときは、**過去形**を使います。出身校について話すときは、“**I went to + 学校名**”になります。

I went to ABC High School.
私はABC高校に通っていました。

- ② 「～を卒業した」は、“**I graduated from + 学校名**”、もしくは動詞の**finished**を使って、「(学校を)終えた」=「卒業」を表します。

- ③ 「入学」は動詞の**enter**(入る)や**start**(始める)を使って表すことができます。

- ④ 「私の好きだった教科は～でした」と言いたいときは、“**My favorite subject was + 教科名**”を使います。

主な教科名：

国語 Japanese 数学 math 理科 science
英語 English 社会 social studies 体育 P.E. 美術 art
音楽 music 技術・家庭 technology and home economics

- ⑤ 「～部に入っていました」は、“**I was in the ~ club.**”もしくは“**I was a member of ~ club.**”という表現を使えます。

I was in the basketball club.
私はバスケ部に入っていました。

I was a member of the art club.
私は美術部のメンバーでした。

A 和文に合うように、空欄に適切な語を入れて英文を完成させましょう。

私は東京で生まれました。 I was () in Tokyo.

私は千葉で育ちました。 I ()() in Chiba.

私は北海道で生まれましたが、今は仙台に住んでいます。
I was born in Hokkaido, but now I ()() Sendai.

私は1990年に生まれました。 I was born ()().

私の誕生日は6月15日です。 My () is June 15th.

B 正しい英文になるように単語を並べかえて書きましょう。文頭は大文字です。

born / I / was / 1995 / November / on / 23rd, /.

→ _____

Yamanashi, / I'm / from / but / Tokyo / moved / I / to / originally /.

→ _____

birthday / your / is / when / ?

→ _____

C 自分のことを英語で書いてみましょう。

生まれた場所： _____

育った場所： _____

誕生日： _____

- 解答
- A born / grew up / live in / in 1990 / birthday
 - B I was born on November 23rd, 1995. / I'm originally from Yamanashi, but I moved to Tokyo. / When is your birthday?
 - C (解答例) I was born in Yokohama. I grew up in Zushi. My birthday is May 20th. など



自分の経験を話す「～したことがある」：現在完了形を使った表現

今日の
レッスン

今日は現在完了形を使って、「～したことがある」という経験を話す表現を学習します。現在完了形を習得すると、過去から現在まで続くさまざまなことを伝えることができますので、積極的に覚えていきましょう。



文法ポイント

- ① 「(今までに)～したことがある」という現在までの経験を伝えるときは、**現在完了形**を使います。形は“**主語 + have/has + 動詞の過去分詞**”になります。I haveの短縮形は**I've**です。
- ② 過去分詞は動詞の変化の形の1つです。過去分詞は次のように作ります。
 - 1) **規則動詞**の過去形・過去分詞は語尾に**-ed**をつける
 - 2) **eで終わる規則動詞**には**-d**をつける
 - 3) **子音+y**で終わる規則動詞は**yをiに変えて-ed**をつける
 - 4) **不規則**に変化する動詞：よく使うものから覚えていきましょう。

	原形	過去形	過去分詞
話す	talk	talked	talked
使う	use	used	used
やってみる	try	tried	tried
する	do	did	done
見る	see	saw	seen
be動詞(である)	be	was/were	been

- ③ 自分の経験について話すとき、**before(以前)**という表現や、経験した回数を表す表現がよく使われます。頻度を表す語句は文末に置きます。

1回 **once** 2回 **twice** 3回 **three times**
 数回 **a few times** 何度も **many times**

- ④ 「～に行ったことがある」と伝えたいときは、goneではなく**been**を使います。「～を食べたことがある」は“**I've had/tried + 食べ物**”の形がよく用いられます。



■ 行ったことがある・見たことがある

I have been to Hawaii once.	私はハワイに1度行ったことがあります。
I have visited Osaka twice.	私は大阪を2度訪れたことがあります。
I've been to Disneyland many times.	私はディズニーランドに何度も行ったことがあります。
I've been up the Tokyo Skytree.	私は東京スカイツリーの上に行ったことがあります。
I've studied abroad before.	私は以前、留学したことがあります。
I've seen the Great Buddha in Kamakura.	私は鎌倉の大仏を見たことがあります。

■ 食べたことがある

I've had Turkish food before.	私は以前、トルコ料理を食べたことがあります。
I've tried Korean food many times.	私は韓国料理を何度も食べたことがあります。

■ 会ったことがある・話したことがある

I've met Tom once.	私はトムに1回会ったことがあります。
I've met Mr. Yamada a few times.	私は山田さんに何回か会ったことがあります。
I've talked to Ann before.	私は以前、アンと話したことがあります。

■ やったことがある・聞いたことがあるなど

I've tried canoeing once.	私はカヌーに1度乗ったことがあります。
I've used that app before.	私は以前、そのアプリを使ったことがあります。
I've done presentations a few times.	私はプレゼンを何回かやったことがあります。
I've heard that story many times.	私はその話を何度も聞いたことがあります。





- A** 和文に合うように、空欄に適切な語を入れて英文を完成させましょう。

私はハワイに1度行ったことがあります。

I () () () Hawaii ().

私は韓国料理を何度も食べたことがあります。

I () () Korean food many times.

私は鎌倉の大仏を見たことがあります。

I've () the Great Buddha in Kamakura.

私は以前、アンと話したことがあります。

I've () to Ann ().

私はプレゼンを何回かやったことがあります。

I've () presentations () ()
().

- B** 次の単語を並べかえて正しい英文にしましょう。文頭は大文字です。

been / have / I / to / Disneyland / many times /

studied / I've / before / abroad /

- C** “I've been to ~”を使って、自分が行ったことがある場所と、行った回数を英語で書いてみましょう。

解答

- ① have been to, once / have had(tried / eaten) / seen / talked(spoken), before / done(given), a few times
 ② I have been to Disneyland many times. / I've studied abroad before.
 ③ (解答例) I've been to Kyoto once. I've been to Hawaii a few times. など

今日の
レッスン

今日はカフェやファストフード店での注文表現を学びます。「店内で食べるかテイクアウトか」を伝える表現と、「飲み物や軽食を注文する」フレーズを練習します。実際の場面を想定しながら、スムーズに注文できるようになりましょう。



文法ポイント

- ① 「～にします」「～をください」の基本表現は、「**I'd like + メニューの名前**」
「**I'll have + メニューの名前**」です。
- ② 「**For here or to go?**」は「店内で食べるか、テイクアウトにするかどうか」という質問です。持ち帰る場合はテイクアウトとは言わずに「**To go.**」と言いましょ。う。
For here. ここで食べます。
To go. 持ち帰ります。
- ③ サイズを表すエス(S)、エム(M)、エル(L)に関しては、**small, medium, large**と言いましょ。う。
- ④ 個数は先に言いましょ。う。
I'll have **two sandwiches.** サンドイッチを2つください。
- ⑤ カフェなどでよく見られる**パンの種類**は次のとおりです。
white bread 白パン **whole wheat bread** 全粒粉パン
rye bread ライ麦パン **bagel** ベーグル
muffin マフィン **cornbread** コーンブレッド
scone スコーン **cinnamon roll** シナモンロール
brioche ブリオッシュ **sourdough** 天然酵母パン



■飲み物とペイストリーを注文する

For here.	ここで食べます。
To go.	持ち帰ります。
I'd like a small cappuccino.	カプチーノのスマールをお願いします。
I'd like a medium café latte.	カフェ・ラテのミディウムをお願いします。
I'd like a large iced coffee.	アイスコーヒーのラーズをお願いします。
I'll have a blueberry muffin.	ブルーベリーマフィンをお願いします。
I'll have a plain bagel and one decaf.	プレーンベーグルとカフェインレス・コーヒーをください。

■サンドイッチを注文する

I'd like to have the ham and cheese sandwich.	ハムチーズサンドをお願いします。
▶ What kind of bread would you like?	パンは何にしますか。
Rye bread, please.	ライ麦パンにします。
Whole wheat, please.	全粒粉のパンにします。
I'd like to have regular white bread.	普通の白パンをお願いします。

■ファストフード店で注文する

I'll have a hamburger, small french fries and a medium coke.	ハンバーガーとポテトのSとコーラのMをください。
I'll take two cheeseburgers.	チーズバーガーを2つください。
▶ Will that be all?	以上でよろしいですか。
Yes, that'll be all.	はい、以上です。
▶ Here's your order.	こちらがご注文の品物になります。
▶ Please come again. Have a nice day.	またお待ちしております。よい1日を。
Thank you. You, too.	ありがとう。あなたも。





DAY 098 レストランに行く

今日の
レッスン

今日はレストランで使える表現を見ていきます。飲み物・前菜・サイドメニュー・メイン料理の注文から、会計をお願いする言い方、そして食事の感想を伝える表現を学びます。外食の場面で落ち着いてやりとりできるように練習しましょう。



文法ポイント

- ① 「～にします」「～をください」の基本表現はファストフード店で注文するときと同様、「I'll have + **メニューの名前**」です。
- ② レストランで注文をするときにお店の人がたずねる基本的な質問は：
 - 1) 飲み物・食前酒はどうするか
 - 2) スープにするかサラダにするか
 - 3) ドレッシングは何がいいか
 - 4) ポテトの調理の仕方
 - 5) ステーキの焼き加減
 - 6) デザートはどうするか
 - 7) 朝食の場合、卵の調理の仕方
- ③ 典型的な夕食のメニューは、**オードブル・前菜、スープ、サラダ、メインディッシュ、デザート、飲み物**で構成されています。
- ④ メニューに、「**Served with～**」と書いてあるときは、「**～は料理についてくる・セットになっている**」という意味です。
- ⑤ ほとんどのディナーメニューには**ポテト**が添えられますので、**フライやベイクドポテト**など、どのように調理してほしいか伝えましょう。
- ⑥ 食事の途中でサーバーが、「**How's everything?**」「お食事はいかがですか」と聞きに来たとき、特に問題がなければ「**Good, thank you.**」「おいしいです。ありがとうございます」と言しましょう。

A 和文に合うように、空欄に適切な語を入れて英文を完成させましょう。

ここで食べます。

() ().

持ち帰ります。

() ().

B 空欄に適切な語を入れ、カフェで注文するやりとりを完成させましょう。

A: What would you like?

B: I'd like a _____ café latte and a sandwich.
(ミディアム)

A: What kind of bread would you like?

B: _____ bread, please. (ライ麦)

A: Will that be all?

B: Yes, that'll be _____. (以上です)

A: Here's your order. Have a nice day.

B: Thank you. _____. (あなたも)

C カフェのメニューを見ながら、商品を注文する英文を書いてみましょう。

Drinks (飲み物)

Coffee Cappuccino Café Latte Iced Coffee Mint Tea (ミントティー)

Pastries & Sandwiches (ペイストリー & サンドイッチ)

Blueberry Muffin Plain Bagel Ham & Cheese Sandwich

- 解答
- ① A For here / To go
 B medium / Rye / all / You, too
 C (解答例) I'd like a large iced coffee and a ham and cheese sandwich. To go.
 I'll have a blueberry muffin and mint tea. For here. など

